

平成 26 年度事業報告

自：平成 26 年 4 月 1 日

至：平成 27 年 3 月 31 日

一般財団法人つくば市国際交流協会

平成 26 年度事業報告及び計算書類の承認について

1. 一般的事項

(1) 組織及び人員

一般財団法人つくば市国際交流協会の組織は、総務課があり、平成 26 年度における役員及び職員等の数は以下のとおりとなっている。

役員		職員	
理事長（非常勤）	1	事務局長（常務理事兼務）	1
常務理事	1	総務課	2
理事（非常勤）	8	総務課（臨時職員）	2
監事（非常勤）	2	外国人相談員	4
		印紙証紙売りさばき所	3
計	12		12

(2) 評議員会

第 1 回評議員会（平成 26 年 6 月 24 日）

- (イ) 平成 25 年度事業報告及び計算書類の承認について承認
- (ロ) 理事の選任について承認
- (ハ) 理事長及び常務理事による職務執行状況の報告について報告

(3) 理事会

第 1 回理事会（平成 26 年 5 月 27 日）

- (イ) 平成 25 年度事業報告及び計算書類の承認について承認
- (ロ) 借入金最高限度額の承認について承認
- (ハ) 評議員会招集について承認
- (ニ) 理事長及び常務理事による職務執行状況の報告について報告

臨時理事会（平成 26 年 6 月 25 日）

- (イ) 理事長の選定について承認
- (ロ) 常務理事の選定について承認
- (ハ) 事務局長の任命について承認
- (ニ) 平成 26 年度補正予算について承認

第 2 回理事会（平成 26 年 9 月 26 日）

- (イ) 平成 26 年度事業進捗状況及び課題について報告
- (ロ) 平成 27 年度事業計画策定に向けて協議

第3回理事会（平成27年2月18日）

- （イ）平成27年度事業計画及び収支予算の承認について承認
- （ロ）借入金最高限度額の承認について承認
- （ハ）理事長及び常務理事による職務執行状況の報告について報告

2. 事業概要

平成 26 年度つくば市国際交流協会事業一覧

国際交流事業

A つくば市内国際交流活動	
	1 各種講座・コンテストの実施
	① 日本語講座(対象:外国人) ＜カピオ・インフォメクラス＞ ＜教室外活動＞
	② 外国語講座(対象:日本人) ＜スペイン語・中国語＞ ＜ボランティア英語＞(新企画)
	③ 料理教室(対象:日本人)
	④ スピーチコンテスト(対象:日本人・外国人)
	2 外国人生活支援のための活動
	① 医療通訳ボランティア派遣(対象:外国人)
	② 外国人のための相談室(対象:外国人)
	3 ボランティア育成・派遣事業
	① 日本語講師育成支援(対象:日本人)
	② 医療通訳ボランティア養成・研修(対象:日本人)
	③ 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介派遣(対象:日本人)
	4 交流イベントの開催
	① 日本語交流大会(対象:日本人・外国人)
	② シティーチャットカフェ・日本語カフェ(対象:日本人・外国人)
	③ フェスティバル事業(対象:日本人・外国人)
B 海外との交流活動	
1. 青少年交流事業(対象:日本人)	
2. 姉妹・友好都市交流事業(対象:日本人)	
C 協会の基盤拡充、広報、情報収集と提供	
	1 会員交流とサポーター募集・組織化
	① サポーター募集・組織化(対象:日本人・外国人)
	② 会員交流会(対象:日本人・外国人)
	2 ホームページ, facebook, ラジオ, ニュースレター等による情報収集・周知活動
	① ホームページ・facebook(対象:日本人・外国人)
	② ラジオ(対象:日本人・外国人)
	③ ニュースレター(対象:日本人・外国人)
	3 他団体との協働・連携
	① 外国人グループのイベント支援(対象:外国人)
	② スポーツ大会(対象:日本人・外国人)
	4 賛助会員(対象:個人・団体・法人)

旅券発給支援事業

D 旅券発給支援に関する事業(対象:日本人)

基本方針

多様な国際交流や国際的な相互理解に基づく多文化共生を推進する事により、国際感覚にあふれた人材の育成と国際拠点都市つくばに相応しい世界に開かれた地域社会の創造に寄与する。

A つくば市内国際交流活動

1 各種講座・コンテストの実施

① 日本語講座

【概要】

つくば市に在住する外国人を対象に、日常生活に必要な日本語の習得を目的として、講座を実施した。日本語講師ボランティア(TIVONA の会)に講師をお願いしている。

【実績】

クラス:6 クラス(日本語1～4・読み書き・日本語の会)

期間:前期(4月～9月)、後期(10月～3月)

定員:各クラス 15名

場所:つくばカピオ, つくばサイエンス・インフォメーションセンター

受講者数, 講師数

前期:受講者 29か国 106名(修了証 47名 44%)、講師 23名

後期:受講者 30か国 120名(修了証 49名 40%)、講師 27名

①-2 日本語講演会

【概要】

日本語講座で使用するテキストを選考するため、候補にあがったテキストについて、著者を講師に迎え、テキストの具体的な使用方法について講演を行った。近隣市町村の日本語教室にも案内を出し、参加を促した。

【実績】

講演名:日本語教材「にほんごこれだけ」講演会

期日:11月22日

場所:つくばサイエンス・インフォメーションセンター

講師:広島市立大学国際学部准教授 岩田一成

内容:教材の使い方, 文法と会話との教え方の違いについて

参加者:約 20名

講演名:日本語教材「まるごと」講演会

期日:3月21日

場所:つくばサイエンス・インフォメーションセンター

講師:独立行政法人国際交流基金日本語国際センター専任講師 大船ちさと氏

内容:会話授業と文法授業の考え方, 手法の違い。構造シラバスと話題・場面シラバスをどうバランスをとり、融合させるかについて

参加者:約 40名

<教室外活動>

【概要】

日本語講座受講生を中心に、講座で習った日本語や日本文化を実際に体験するためにハイキングを行った。

【実績】

実施名：筑波山麓ハイキング

期日：11月1日

場所：筑波山麓（平沢官衛，普門寺，神郡武井邸，六丁目の鳥居，飯名神社等）

参加者数：41名

②外国語講座

<スペイン語・中国語>

【概要】

世界的に使用人口が多い言語の入口として年3季(1季につき3ヶ月、10回講座)実施。スペイン語、中国語ともに各季2クラスずつ開講した。

【実績】

スペイン語:春期(初級12名), 秋期(入門8名、初級13名)、冬期(入門7名、初級11名)

中国語:春期(入門7名、中級15名), 秋期(入門9名、中級15名)、冬期(入門16名、中級10名)

<観光英語ボランティア講座>

【概要】

つくば市に毎年多くやってくる外国人のためのタウンガイドや東京オリンピックを見据えた観光ガイドボランティアができる人材を養成するために平成26年度新規に開講した。

また、平成27年2月に筑波山梅林にて外国人を相手にしたガイドの実習を実施した。

【実績】

受講者 25名

講座後実習(梅まつり)参加者 10名程度

③料理教室(対象:日本人)

【概要】

料理を入口にした、世界各国への興味の醸成を目的として年4回実施した。交流センター調理室を使用して行った。料理だけでなく外国文化等の紹介も実施した。

【実績】

6月 パラグアイ料理(23名), 8月 ドイツ料理(21名), 11月 イギリス料理(24名)

2月 韓国料理(25名)

④ スピーチコンテスト

【概要】

英語をより身近なものとして関心を持ち、更なる英語力の向上と、将来、つくば市や周辺市町村に在住する外国人に対して、英語を使ってコミュニケーションができる人材を育てる機会の提供と語学学習者が、練習の成果を発表する場とすること

【実績】

実施名:英語スピーチ・プレゼンテーション大会

期日:11月22日,23日

対象:市内中学校,英語初心者

参加者:市内7中学校16名(1名は2日目欠席)

発表テーマ:つくばに関すること

発表時間:スピーチの部3分間,プレゼンテーションの部6分間(うち2分間は質疑応答)

審査員:筑波大学教育イニチアティブ機構 教授 ランディープ ラクワール

筑波大学生命環境系 助教 マシュー クリストファー ウッド

JICA 筑波所長 木邨洗一

つくばインターナショナルスクール校長 クロフォード シェイニー

審査方法:英語の優劣で順位を付けるのではなく、何が良かったのかを評価して賞を決定した。大会後、審査員から実力アップのためのアドバイスやコメントを発表者に送った。

共催:筑波研究学園都市交流協議会,筑波大学グローバル・commons機構

協力:筑波大学留学生17名

スピーチの部

	発表者	留学生パートナー	発表テーマ	賞
1	片山愛	Roshin Ono	Tsukuba in 10 years	Enthusiasm Award
2	江口爽香	Georg von Fingerhut	Small Tsukuba	Delivery Award
3	中根優花	Gao Yan	Better life, Better Tsukuba	Good Idea Award
4	浅野暉子	Tu Jinyu	Tsukuba, a unique city	Passion Award
5	西澤くるみ	Issei Watanabe	The clean city of Tsukuba	Composure Award
6	高橋龍星	Francesco Visentin	What I would to improve in Tsukuba	Excellent
7	片山樹	Ho Pui Mau Iris	Improvements for the future of Tsukuba city	Creativity Award
8	猪瀬理奈	Dhani Pannacasey	What will Tsukuba city look like in ten years?	Visionary Award

プレゼンテーションの部

	発表者	留学生パートナー	発表テーマ	賞
1	白川剣人, 金久絵理 奈, 嶋津愛	Asavoai Cristina	Living and studying in Tsukuba	Courage Award
2	チャボシアン・セイ エッド・モハンマド	Modar Hassan	Becoming Tsukuba!	Concept Award
3	三船大輔	Ariyapinyopas Orakanjana	Why do people say that Tsukuba city is so international?	Excellent
4	羽下藍菜	Dawitt Fisseha	Tsukuba and Pleasant thing I would like to recommend.	-
5	飯島海里	Ellen Chen	Why should we live in Tsukuba?	Enthusiasm Award
6	福田彩乃	Hideyuji Takizawa	Do you know about my school?	Delivery Award
7	渡辺梓	Amin Tanzila	The role of Tsukuba in future	Unique Presentation Award

※詳細は別冊参照

2 外国人生活支援のための活動

① 医療通訳ボランティア派遣

【概要】

日本の医療機関における外国人のサポートのために、医療機関の依頼にもとづいて通訳を派遣している。

【実績】

9 病院 46 回依頼 (病院都合によるキャンセル 11 件)

② 外国人のための相談室

【概要】

つくば市に在住・在勤・在学する外国人を対象として、在留資格・婚姻・行政手続き等の相談に対して、外国人生活相談員4名(英語2名/中国語2名)を配置し、相談業務をおこなっている。

【実績】

54 件対応(英語 30 件、中国語 19 件、日本語5件)。

相談員内勉強会(10月1日、2月10日)実施。

3 ボランティア育成・派遣事業

① 日本語講師育成支援

【概要】

平成26年7月に全5回で、日本語講師ボランティア養成講座を実施。講師は当協会の日本語講座関係者を招いた。講座受講後には、協会の実施する日本語講座のボランティア講師をつとめてもらえるよう積極的に勧誘をおこなっている。

【実績】

受講者16名(満員)。うち4名が10月から日本語講座を担当した。

② 医療通訳ボランティア養成・研修(対象:日本人)

【概要】

医療通訳ボランティアとしての活動を希望する一般の人を募集し、講座を実施した。講座最終日に試験を実施し、合格者をボランティアとして登録し、医療機関に派遣している。

【実績】

平成26年11月8日、29日、12月6日の日程で養成講座を実施。

受講者80名、試験合格者8名(英語4、中国語2、ポルトガル語1、スペイン語1)

③ 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介派遣(対象:日本人)

【概要】

各種ボランティアを依頼にもとづいて派遣し、国際交流や多文化共生の推進を図っている。

【実績】

通訳翻訳:6件31名(つくばフェスティバル, まつりつくば, 芝生協会, 日仏スポーツ交流会, 筑波山案内)

翻訳:ライフプランすこやか2014版(英語、中国語)

ホームステイ:3件18世帯(モンゴル人, インド訪日団, インドネシア学校)

文化紹介8件(真瀬小学校, 吉沼小学校, 吾妻小学校, 吾妻交流センター講座, 桜南保育所, 二の宮保育所, 手代木南幼稚園, 桜幼稚園)

4 交流イベントの開催

① 日本語交流大会

【概要】

国際交流に興味のある外国人を対象に、気軽に楽しみながら日本語や日本文化に触れあえるイベントとして開催した。外国人を中心とする中高校生には国際青少年会議として、『将来と日本語:~私にとっての日本語、家族の日本語、日本語の勉強方法~』についてスピーチ、質疑応答で話を深め、また大人会議では、『国際化に向けたつくばの取り組みについて~つくば市国際化指針を評価・議論する

～』と題して、グループディスカッションを実施した。

【実績】

実施名:日本語であそぼう

期日:3月15日

対象:外国人または国際交流に関心のある日本人

主催:日本語であそぼう実行委員会, つくば市国際交流協会

協力:つくば市国際・文化課, TIVONAの会, T.I.G

参加者:200人(うち外国人65人)

実行委員

小玉 喜三郎	つくば市国際交流協会理事長
金久保 紀子	筑波学院大学准教授
清水 晃	つくば市国際交流協会理事、TIVONAの会会長
吉田 麻子	つくば市国際交流協会理事、T.I.G(つくば国際グループ学校部)
布浦 万代	つくば市国際交流協会理事、虹の会
石田 眞雪	Institute Educare(ブラジル人学校)
河野 あかね	つくばインターナショナル・スクール
杉本享子	つくば市国際交流協会会員・日本語ボランティア講師
藤方良江	つくば市国際交流協会会員・日本語ボランティア講師
楊源美	つくば市国際交流協会会員
柳田茂秀, 前田由紀子	つくば市国際・文化課
横田章	つくば市国際交流協会事務局長

プログラム

10:00 開会

10:15 ウォーミングアップ

11:00 国際青少年会議

13:00 大人会議, 文化体験

16:00 閉会

文化体験部門 出展一覧

1	国際書道サークル(武井志保)	書道と手形
2	茨城県立筑波高等学校 JRC 部	百人一首を楽しもう(カルタ取り, ペン字で和歌を 書写, 坊主めくりゲーム)
3	能楽 金春流櫻詠会(山中一馬)	能面試着、唄(高砂)など体験
4	日本舞踊(冠木新市)	筑波恋古道踊り
5	きららの会(ニッ森千尋)	和紙折り紙
6	めぐみ千代紙人形(澤部玲子)	しおりづくり

7	着物にチャレンジクラブ（布浦万代，楊源美，藤方良江）	着物，浴衣の着付け
8	茶道（浅川恵子）	茶道（試飲）
9	筑波学院大学（佐々木愛美）	フェイスペインティング
10	TIVONA の会（清水晃）	川柳
11	つくばで国際交流しよう会（芝田圭子）	多言語名刺作り
12	つくばインターナショナル・スクール（河野あかね）	世界のダンス紹介
13	茨城県立筑波高等学校 JRC 部	ガマの油売り口上（昼食時）

会議部門

国際青少年会議

参加者 4 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ハファエル・ヒロシ・タニオカ・スズキ Instituto Educare 高校 1 年生（ブラジル） ・大下ありさ 茗溪学園中等部 3 年生（韓国） ・アウルゼド・テヌーン 吾妻中学校 8 年生（モンゴル） ・ニーシュ慈英結（じえいむす）つくばインターナショナル・スクール 9 年生（ジブラルタル）
アドバイザー	吉田麻子（風の会代表）
テーマ	将来と日本語：～私にとっての日本語、家族の日本語、日本語の勉強方法～

大人会議

目的:つくばの国際化について、参加者が「つくば市国際化基本指針」についてグループディスカッション形式で話し合い、つくば市に提案または提言する事を目的とする。

テーマ: ①国際化とは何か，②つくばの国際化について良いところ，足りないところ，③つくば市国際化指針を評価、今後に向けて何を行えばよいか

進行:筑波大学助教 鈴木華子氏

※詳細は別冊参照

② シティーチャットカフェ(CCC)・日本語カフェ

【概要】

CCC は、筑波大学・筑協・協会の 3 者共催事業として、毎月 1 回実施している。LALA ガーデンつくばを会場として、筑波大学留学生 10 名程度が毎回コーディネーターとして関わっている。

日本語カフェは、「外国人の日本語使用機会」「日本文化紹介」「つくばに来て日の浅

い外国人へのガイダンス」などを目的として、不定期で開催している。

【実績】

シティーチャットカフェ:月 1 回 LaLa ガーデンにて開催。8 月から 12 月まで(5 回)協会主催。

日本語カフェ:年 8 回実施。90 名程度参加。

③ フェスティバル事業

【概要】

市民に対して広く国際交流や異文化理解の機会を提供するために、毎年 5 月に国際交流フェアを、つくばフェスティバルと同時開催という形で実施している。多国籍に料理・物産の販売や文化体験をおこなうブース出展と外国の音楽や舞踊等を披露してもらうステージを運営している。

【実績】

ブース 23 団体出展、ステージ 9 団体出演(つくばフェスティバル全体で 13 万人来場)

B 海外との交流活動

1. 青少年交流事業(対象:日本人)

【実績】

8 月に韓国大田市から、3 名の訪問を受け、両市、両国際交流団体との友好都市覚書締結について協議を行った。

2. 姉妹・友好都市交流事業(対象:日本人)

【実績】

つくば市で市民交流等が計画されず未実施だった。

C 協会の基盤拡充、広報、情報収集と提供

1 会員交流とサポーター募集・組織化

①サポーター募集・組織化

【概要】

会員を「各種ボランティア」、「サポーター」、「賛助会員」の 3 つに分類して個々にまたは全体的に組織化し、会員が独自に活動する仕組みを構築する。

【実績】

サポーターに登録した 2 名が「日本語であそぼう」実行委員として活動した。会員とサポーターの違いを明確にすることができず、組織化まで至らなかった。

②会員交流会

【概要】

つくば市内にある JICA 筑波国際センターを訪問し、そこで活動する研修員の活動や母国の様子を知ることと同時に、つくば市国際交流協会会員同士の交流を深め、次年度以降の活動に生かしていただくことに寄与することを目的として実施した。

【実績】

実施名:会員交流会～JICA 研修員は何してる?～

期日:2月21日

場所:JICA 筑波国際センター

対象:協会会員及びその家族, 友人

参加者:18名

内容:施設見学, 研修生母国紹介(ニカラグア), 遊び紹介(フィリピン), グループ・全体交流(研修員10名)

2 ホームページ, facebook, ラジオ, ニュースレター等による情報収集・周知活動

① ホームページ・facebook

【実績】

イベント案内, 報告, 後援団体の情報を随時掲載した。新たにメーリングリストを設置し、関係者に一斉送信できるようにした。事業計画に合わせて全体の構成を構築したいが、まとまった作業時間を確保する事ができず、全体的に中途半端な印象になっている。見やすい環境を構築することが課題。

② ラジオ

【実績】

ラジオつくばで行ってきた、「〇〇カフェ」は179回放送をもって7月末日で終了となった。9月から@town 守谷へゲストとして月1回参加し、協会の情報を提供している。また、協会のイベント情報は昼の番組で随時紹介している。

③ ニュースレター

【概要】

協会の周知、会員への会報として平成26年度新規創刊を検討した。

【実績】

平成27年1月に創刊号刊行(1500部)した。会員・関係団体・つくば市内区会へ配布。各種公共機関へ設置をおこなった。

④ その他

【実績】

CROSS T&T48 号寄稿

「国際都市つくばにおける多文化共生社会をめざして」(10月30日発行)

3 他団体との協働・連携

① 外国人グループのイベント支援

後援事業

期日	イベント名	場所	主催
6月30日	日・タイ舞踊交流祭	筑波銀行	日・タイ舞踊交流祭実行委員会
10月18日	タジキスタン・日本学生フォーラム 2014	筑波大学	筑波大学中央アジア事務所
3月7日	韓しゃカフェ(韓国語おしゃべりカフェ)	LALA ガーデンつくば	KOREA 文化交流協会

協力事業

期日	イベント名	場所	主催
8月22日	夏休み知っちゃおうツアー	Instituto Educare	つくば市社会福祉協議会
10月25日	モンゴル文化紹介	荃崎交流センター	荃崎交流センター

イベント出展

期日	イベント名	場所	主催
1月10日	ボランティアフェスタ	イーアスつくば	つくば市社会福祉協議会

② スポーツ大会

【概要】

スポーツによる国際交流を柱として、つくば市他様々な団体で実行委員会を組織し実施した。協会は、イベント内の食販ブースの運営を主として実施した。協会に登録のある外国人を中心に募集し参加者を募った。

また、平成 26 年度は新規企画として、大会に先立つプレ大会を実施し、本大会への誘客をおこなった。

【実績】

実施名:つくばワールドフットサル 2014

期日:11月30日

場所:セキショウチャレンジ・スタジアム

参加者:383名(内外国人27か国70名)

※ プレ大会

期日:10月27日

場所:スポーツシューレつくば(つくばイオン内)

参加者:27人(うち外国人11人)

4 賛助会員

【概要】

協会自主財源になるため、多くの入会が求められるが年々減少傾向にある。勧誘に多くの時間が必要であり、他事業への影響を懸念している。制度としては良いが、事業協賛を募る仕組みにも検討が必要と考えている。

【実績】

個人会員:86人 156.5口, 団体会員:2団体 2口, 法人会員:9法人 10口

賛助会費計:533,000円

D 旅券発給支援に関する事業

【実績】

パスポート用印紙・証紙セット販売及び写真撮影の比較

年度	10年	5年	12歳未満	写真(件)
H25	4,448	2,638	980	3,192
H26	4,493	2,461	1,147	3,561

パスポート申請用印紙・証紙セットの購入は全体として大きな変化はない。写真撮影は369件の増加となった。

自主財源を確保するため、パスポート申請用以外での購入を周知し収入増を図りたい。